



村田琴之介さん本人提供

東日本大震災などで損傷したままの大條家茶室。山元町坂元、同町教委提供

# 「大條家茶室」修復 新作講談で後押し

山元で23日披露



山元町の指定文化財で、仙台藩主伊達家ゆかりの「大條家茶室」をめぐる物語が、新作の講談になった。

江戸後期の仙台藩家臣、大條道直が主人公。仙台市在住のアマチュア講談師、村田琴之介さん(68)に

よるネタ下ろしが、23日午後2時から、大條家の菩提寺でもある同町坂元の徳本寺である。

相次ぐ地震で壊れた茶室の修復機運を盛り上げようと、地元グループが企画した。道直は、伊達家の跡継ぎが絶えそうになった際、將軍家から婿を迎える計画を差し止めた人物。その功績で、藩主から茶室を与えられたとされる。お笑いコンビ・サンドウィッチマンの伊達みきおさんの先祖でもある。

講談の題は「伊達の血筋を守った男 大條道直」。問い合わせは徳本寺(02-23-38-0320)。10月9日午後3時、仙台市福祉プラザでの「みちのく講談会」でも、村田さんが披露する。いずれも無料。

23.9.8 朝日(石橋英昭)